



Japan Wi-Fi

旧POPCHATシリーズ（Ⅲまで）と POPCHAT-Xシリーズの機能差異

比較表(設定関連)

機能名	旧POPCCHAT	POPCCHAT-X	
通信処理モード ※詳細8ページ	NAT	Bridge	NAT
USBアクティベートによる 設定の有効化	×	○	
プラグ&プレイ	○	×	○
認証対象VLAN指定および、 透過させるVLAN指定 ※詳細8ページ	×	○	△ (透過するVLANは設定不可)
セッション/帯域制限の適用単位	ゲートウェイ (全体で一律適用のみ)	ゲートウェイ/tagVLANグループ (接続ポートtagVLAN検出のグループごと設定可能)	
接続ポート検出：SNMP方式	標準 MIB方式 qBridge-MIB方式	標準 MIB方式	
代理SMTP スパム制御	○	×	
DHCP割当アドレス範囲 ※詳細9ページ	同一セグメントで3つの範囲を指定 可能 (途中に除外レンジ設定可能)	—	割当範囲は1つのみ (途中の除外レンジ設定不可)
DHCPグローバル接続アドレス割当 ※詳細9ページ	○	—	×
ポート転送	○	×	○
NTPサーバ指定	○ (任意のNTPサーバ設定可能)	固定 (NTPサーバ：ntp.nict.jp)	
ローカルDNS	○	×	×

比較表(設定関連)

機能名	旧POPCHAT	POPCHAT-X	
DHPCリース時間設定 (POPCHAT II 以前)	POPCHAT II 以前 1時間単位でリース時間を設定可能 POPCHAT III では15分で固定	15分で固定	
上位回線死活監視と断メッセージ	○	×	○

比較表(認証関連)

機能名	旧POPCHAT	POPCHAT-X
フリー認証 ※p.13参照	○	○ (但し認証後URLリダイレクト対応不可)
アクセスID自動発行	○	廃止 (クラウドのメールアドレス認証に一本化)
アクセスID任意文字列作成	×	○
仮認証設定	○ (任意の値で設定可能)	×
認証画面表示方式	Captiveportal方式 通常ブラウザ手動方式	CaptivePortal方式 通常ブラウザ手動方式 QRコード読取方式
認証設定単位 ※詳細10-12ページ	アカウント/ゲートウェイ/ 接続ポート設定(検出方式tagVLAN/SNMP)	アカウント/ゲートウェイ/tagVLANグループ (機種ごとに異なるスペック: VLANグループ管 理数の範囲内で異なるモード設定が可能)
認証画面FQDN設定 ※詳細7ページ	○ (本体認証のみ)	×
認証画面カスタマイズ ※詳細14-18ページ	Html/CSSで直接編集可能	CMS機能範囲内での設定変更 (ヘッダー画像、背景画像・色、文言、ボタン名 称の編集)
機種ごとの同時接続数上限のカ ウント対象について ※詳細24ページ	POPCHAT本体認証の場合、 認証成立し、POPCHAT機器本体の認証設定における 有効期間(時間)が残っている全ての端末がカウント対 象となります。 @Cloud認証の場合、 認証成立し、@Cloud認証設定における接続時間が 残っている端末のうち、15分以内にアクティブ通信が 行われた端末がカウント対象となります。全く無通信 状態が15分以上となると一旦カウント対象から解除さ れ、通信再開時にカウント対象として復帰します。	認証設定における1回あたりの接続時間を利用中 の端末をカウントし、当該接続時間設定が有効に 適用中の時間範囲内では、アクティブに接続(通 信)されていない状態でも同時接続数カウント対 象となり、認証時間経過後削除され、同時接続数 がマイナス1されます。

比較表(認証関連②)

機能名	旧POPCHAT	POPCHAT-X
利用規約の編集 ※詳細19ページ	認証画面のHtmlカスタマイズの中で全文を自由に変更可能	Wi-Fiサービス利用規約/認証サービス利用規約の2つに分割、認証サービス利用規約の編集には、認証登録データの顧客保存環境の用意が必須で必要。
機器本体認証方式およびクラウド連携NG臨時認証方式 ※詳細10-12ページ	ベーシック/フリー/アクセスID/Radius 臨時認証方式：ベーシック認証	機器本体認証方式は廃止、 但し、クラウド連携NG時の臨時スタンドアロン認証として、 ベーシック認証：1時間/回で固定のみ
認証ログ(個人情報付き)転送 ※詳細20ページ	認証@クラウド基本パック/個人認証オプション標準機能	認証規約カスタマイズ時に お客様Webサーバに転送可能
スタンドアロン認証	フリー認証/ベーシック認証/アクセスID認証/Radius認証	ベーシック認証 接続時間1時間固定のみ 通常時は選択できません、クラウドに疎通ができない場合の認証方式となります。
アクセスID認証の仕様変更	POPCHAT本体認証の場合 接続時間/時刻/期間のいずれかを選択し同じアクセスIDを利用できる回数のみ制御する方式(回数無制限も可能) @Cloud認証の場合 上記に加えて認証保持期間の設定を行い、期間中再度同じ端末が認証を行う場合は2回目以降の認証となりベーシック認証 or アンケート認証となる。	認証保持期間＝アクセスIDの有効期間となりその期間内であれば同じアクセスIDを利用できる。ただし、毎回アクセスIDを入れることはできず、初回のみアクセスIDを入力し、その後同じ端末がアクセスした場合は2回目以降の認証となりベーシック認証 or アンケート認証のいずれかの認証方式となる。 また、認証保持期間内に何回まで利用できるか設定および、台数制限設定が可能。回数制限は最大30回/30日までの設定で台数制限は1台～無制限の任意の台数を設定可能。 接続期間より認証保持期間が短い場合接続時間が残っていても認証保持期間(有効期限)が優先される。(認証保持期間が切れたら接続がきれる。) 認証保持期間が0日となっている場合のアクセスIDは使い切りとなり、1度利用したら同じ端末では利用できない。 台数を0台で設定する場合は無制限となる。
認証時のhttps通信の挙動	設定によりブラウザ警告画面 タイムアウト、認証画面を返さない	認証時(未認証段階)の全てのhttps通信に対する挙動の設定 選択肢は、遮断(タイムアウト)/透過(スルー)の2種類。
接続時の挙動	接続期間内はPOPCHAT本体に認証情報を保管	認証情報は全てクラウドに保管、接続時間内の再接続であっても、クラウドの認証情報と一致しないとエラーとなる。

比較表(認証関連③)

機能名	旧POPCHAT	POPCHAT-X
2回目以降の認証	旧POPCHAT@Cloudの認証設定では、初回認証の認証方式選択肢にアンケート認証を有効化しなくても、2回目以降の認証画面として、アンケート認証画面を選択可能	最新モデルPOPCHAT-Xシリーズの認証設定では、 初回認証の認証方式選択肢にアンケート認証を有効化 した状態でないと、2回目以降の認証画面として、アンケート認証画面を選択できない

比較表(その他)

機能名	旧POPCHAT	POPCHAT-X
管理画面と管理対象	機器本体/POPCHAT@Cloud で別々の管理画面	完全にクラウド管理サイト 1 つに集約 (POPCHAT-X Dashboard)
利用状況確認	本体：接続状況/接続履歴 @Cloud：接続状況/接続履歴	POPCHAT-X Dashboardに集約 (ホーム画面、稼働状況)
Syslog確認	認証ログ/アクティブ接続ログ/状態監視ログ /DHCPログ/セッションログ/トラフィックロ グ/アクティブユーザログ (機器本体で閲覧&シスログ@クラウドで CSVダウンロード)	認証ログ/接続ログ/制御ログ/監視ログ (ダッシュボードで1ヶ月分のみCSVダウンロード)
Syslog転送	同上	DHCPログ/DNSログ ※bridgeモードの場合は認証後、POPCHAT内部のDNS、 DHCPにアクセスしなくなるため、認証後のログはとれません。
パケットログ転送	○	廃止
Syslog解析	表示内容固定の簡易BI	ドリルDOWN等による詳細解析も可能な通常BI (別途有償オプション)
リピーター来訪状況の見える化	×	○
先出しセンドバック交換時の 認証情報引き継ぎ	2～3日前のバックアップデータから認証情 報を復元 (ロス有り)	故障時直近の認証情報をそのまま引き継ぎ (ロス無し)
バージョン管理※	サポートデスクから個別リモート手作業が必 要 (要日時予約)	管理画面で任意の即時に実行可能、もしくはリリース60日後自 動アップデート適用。
Webキャッシュ (httpサイトのcash機能)	×	○
監視仕様 (本体)	15分毎にチェックして2回応答なしを疎通な しと判断	1分毎にチェックをして2分応答なしを切断と判断
監視仕様 (外部機器)	3分毎にチェックして3回応答なしを疎通な しと判断	1日1回チェックをして応答なしの場合切断と判断 任意のタイミングでpingを飛ばして応答がない場合切断と判断

ネットワーク設定差異について(基本設定)

旧POPCHATシリーズ

ホスト名※	localhost.localdomain	POPCHAT-Xではホスト名、FQDNは固定で変更不可
FQDN	hndlet.com	
WANインターフェース※	☐ DHCP ☒ 固定IP	
	IPアドレス: 192 . 168 . 16 . 115 サブネット: 255 . 255 . 255 . 0 ゲートウェイ: 192 . 168 . 16 . 254 (予備)	
	☐ PPPoE POPCHAT-XではPPPoE設定なし	
	IPアドレス: ☒ 自動取得 ☐ 固定 (/ 32 ▼) 接続ID/PWD: test / pass MTU値: 1285	
LANインターフェース※	IPアドレス: 172 . 16 . 5 . 254 サブネット: 255 . 255 . 255 . 0	
管理インターフェース	IPアドレス: 172.16.1.254 サブネット: 255.255.255.0 ☐ 管理インターフェースを使用しない POPCHAT-Xでは管理I/Fなし	
DNSサーバ	(予備)	

WANとLANは別セグメントとなりNATが必須

POPCHAT-Xシリーズ

アカウントID	AATW2010001	
ゲートウェイID	GATW2010001	
WANインターフェース	DHCP:	☐
	固定IP:	☒
	IPアドレス:	192.168.30.43
	サブネット:	255.255.255.0 /24 : 255.255.255.0 : 256 ▼
	ゲートウェイ:	192.168.30.254
	ゲートウェイ (予備):	
VLAN:	☐ 使用する ☐ 使用する	
素通ししたいVLAN②		
LANインターフェース	モード:	bridge ▼
	IPアドレス:	192.168.0.254
	サブネット:	/24 : 255.255.255.0 : 256 ▼
	VLAN:	☐ 使用する
DNSサーバ	①	8.8.8.8
	②	8.8.4.4

VLANパススルー設定
通過させたい(認証画面を表示しない)VLANIDを入力する。(複数可)
※認証画面を出すVLANIDも必要になります。(1つ)

Bridgeモードの場合WANとLANのセグメントは同一でPOPCHATのIPは一つになります。

ネットワーク設定 (VLANについて)

POPCHAT-Xシリーズではトランクポートなどで1つのLANケーブルに複数のVLANが設定されている場合にどのVLANIDを認証するか設定し、それ以外のVLANIDについては透過させるという設定がございます。

※前提としてPOPCHATのWAN側は認証対象とするVLANと同じセグメントである必要があります。

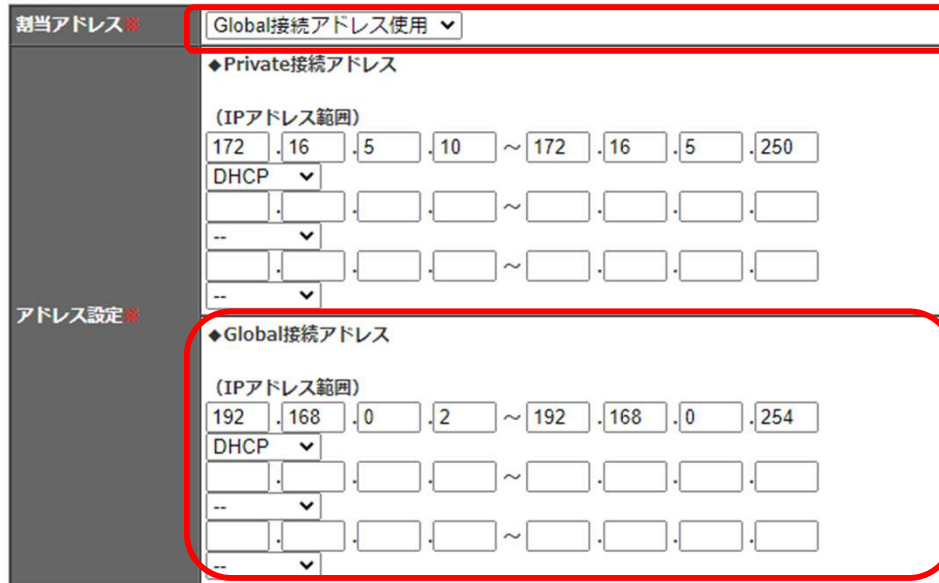
※NAT時にLAN側は、基本的には設定不要(WAN側と同じVLANタグID値の場合)です。LAN側からのVLANタグIDとWAN側のVLANタグIDを異なる(但しセグメントは同一)VLANタグIDに設定したい場合にのみ「VLAN : 使用する」という設定項目をお使い下さい。

※別途、接続ポート設定で検出方式タグVLANの場合に、WANインタフェースやLANインタフェースにおいて、同じVLANタグID値は使用できません。(接続ポート識別ができなくなるため。)

通信処理モード	設定項目「VLAN使用する」 の設定例	設定項目「素通ししたいVLAN」 の設定例	動作
bridge	使用しない	使用しない	tagIDなしの通信は認証対象、 tagIDありの通信はブロックする。
	使用する(10)	使用しない	tagID:10の通信のみ認証対象、 その他通信はブロックする。
	使用する(10)	使用する(20, 30)	tagID:10のみ認証対象、 tagID:20, 30は透過、 それ以外(tagなし含む)はブロックする。
NAT	使用しない	透過しない ※設定項目はあるが設定しても 透過しません。	tagIDなしの通信は認証対象、 tagIDありの通信はブロックする。
	使用する(10)		tagID:10のみ認証対象、 それ以外の通信(tagなし含む)ブロックする。

ネットワーク設定差異について(DHCPサーバ機能)

旧POPCHATシリーズ



割当アドレス※

Global接続アドレス使用 ▼

◆Private接続アドレス

(IPアドレス範囲)

172 . 16 . 5 . 10 ~ 172 . 16 . 5 . 250

DHCP ▼

-- ▼

-- ▼

アドレス設定※

◆Global接続アドレス

(IPアドレス範囲)

192 . 168 . 0 . 2 ~ 192 . 168 . 0 . 254

DHCP ▼

-- ▼

-- ▼

Private接続/Global接続どちらの範囲を利用するか指定する。
※Global接続利用時もPrivate接続のアドレス範囲入力必須

割当範囲は連続したサブネット内(同一セグメント内)であれば最大3つに分割した範囲を設定が可能

POPCHAT-Xシリーズ



DHCP設定

NATモードで利用時にPOPCHATのLAN側と同一セグメント内で連続したサブネットの範囲を1つ指定のみ

(IPアドレス範囲) 192.168.0.1 ~ 192.168.0.102

設定を更新

認証方式差異について(現行認証方式)

旧POPCHATシリーズ

【本体認証】クラウド連携せずにスタンドアロンで動作

認証方式	フリー認証
課金金額	ベーシック認証 フリー認証 アクセスID認証 @Cloudサービス認証 Radius認証
接続時間	時刻指定 12時00分～12時00分 期間指定 開始 2016年04月05日09時30分 終了 2016年04月05日09時40分
表示URL	パソコン) 携帯・スマートフォン) ☐ ポップアップ表示使用 (☐ 常に表示 (パソコンのみ有効)) ☐ 接続元情報をパラメータに含める (パスフレーズ)
表示間隔	最初の表示のみ 最初の表示からの時間指定 1時間0分おき 時刻指定 (1) 00時00分 (2) --時--分

【@Cloud連携認証】本体で@Cloudサービス認証を選択している場合は@Cloudの設定が適用される。(認証時にクラウドへ問い合わせする。)

平常時	災害時
利用可能時間帯	☐ 利用可能時間帯を設定する
認証方式	☒ メンバー認証 接続回数/期間 無制限 / 無期限 接続時間 0時間0分 認証保持期間 日 ☒ OPEN-ID認証 接続回数/期間 4回 / 1日 接続時間 0時間2分 認証保持期間 0日 ☒ アンケート認証 接続回数/期間 4回 / 1日 接続時間 24時間0分 認証保持期間 1日 ☒ メールアドレス認証 接続回数/期間 無制限 / 無期限 接続時間 0時間5分 認証保持期間 0日 ☒ コールバック認証 接続回数/期間 無制限 / 無期限 接続時間 0時間10分 認証保持期間 0日 ☒ アクセスID認証 発行されたアクセスIDの設定が適用されます。 ☐ ベーシック認証 (組み合わせ不可)
2回目以降	☒ ベーシック認証画面を表示 ☐ アンケート認証画面を表示
メンバー認証URL	https://enq10.cloud24.jp/enquetes
アンケート認証URL	https://enq10.cloud24.jp/enquetes
リダイレクト先URL	☐ 設定しない ☒ 言語共通で設定する ☐ 言語別に設定する 言語共通 : https://popchat.jp/

認証方式差異について(POPCHAT-X認証方式①)

POPCHAT-Xシリーズ 必ずクラウドへ問い合わせを行い、設定してある認証方式を利用する。
認証済みの端末が存在する状態で、認証方式が変更されると接続できなくなります。認証保持なしで接続時間経過後であれば、新しく設定した認証方式で認証することとなります。認証済みのアクセスIDが削除されても使用していた該当端末での接続ができなくなります。

アカウント単位：アカウントに紐づいているゲートウェイ装置すべてに適用される認証方式

認証一覧				災害時認証設定	通常時認証設定
※通常時認証設定					
メールアドレス認証	無制限/無制限	00:01	保持しない		
OPEN-ID認証	無制限/無制限	00:01	保持しない		
アクセスID認証					アクセスID一覧
コールバック認証	無制限/無制限	00:01	保持しない		
アンケート認証	無制限/無制限	00:01	保持しない		
メンバー認証	無制限/無制限	00:01	保持しない		
※災害時認証設定					
ベーシック認証	無制限/無制限	00:05	保持しない		

ゲートウェイ認証一覧			ゲートウェイ設定
GATW2010011 ▾	タグVLAN		グループ設定

認証方式差異について(POPCHAT-X認証方式②)

ゲートウェイ単位：アカウントに紐づいているゲートウェイ装置単位での認証設定

ゲートウェイ認証一覧 ゲートウェイ設定

GATW2010011 接続ポートを使用しない GW認証設定

ベーシック認証	無制限/無制限	00:05	保持しない
メールアドレス認証	無制限/無制限	00:05	保持しない
OPEN-ID認証	無制限/無制限	00:05	保持しない
アクセスID認証			アクセスID一覧
コールバック認証	無制限/無制限	00:05	保持しない
アンケート認証	無制限/無制限	00:05	保持しない
メンバー認証	無制限/無制限	00:05	保持しない
QR認証 (easy)			QRID一覧
Radius認証			Radius認証設定

各単位で基本的には同一となっておりますが、POPCHATⅢシリーズのフリー認証が廃止されてQR認証が追加されました。

Radius認証についてはゲートウェイ単位の認証を行うときのみ設定が可能です。

タグVLANグループ単位：ゲートウェイ装置に設定されているタグVLANグループ単位での認証設定

ゲートウェイ認証一覧 ゲートウェイ設定

GATW2010011 タグVLAN グループ設定

タグVLANグループ一覧

16	ベーシック認証	無制限/無制限	00:05	保持しない	VLANグループ認証設定
30	アクセスID認証				VLANグループ認証設定

アクセスID一覧

ゲートウェイ装置にタグVLANとグループが設定されている場合はタグVLANグループ単位で認証設定が可能です。

POPCHATⅢシリーズではSNMPポート単位で認証設定ができましたがPOPCHAT-Xの最小認証単位としてはタグVLANグループ単位までとなります。

【非推奨の経緯】

昨今のWi-Fiに関する社会情勢の変化に合わせた考え方として非推奨です。

総務省のWi-Fi提供ガイドライン「4-1. Wi-Fi利用者が安心して使うための適切な情報の提供」に推奨されている通り利用規約として以下を盛り込んでおります。

(Wi-Fi提供ガイドライン：https://www.soumu.go.jp/main_content/000690267.pdf)

- ・誰が設置したWi-Fiなのか（Wi-Fiオーナー名）
- ・時間制限や回数制限や通信サイズのレベル等、
何か制限がかけられている場合には、その制限内容
などの内容を含むご利用規約を表紙にて同意してもらう、
という画面表示が求められるようになっております。

また、新たに認証規約を設置しております。

こちらには認証時に取得するログの保存を当社(POPCHAT社)にて行っており、管理している旨が提示されております。

(保管期間が24ヶ月や情報については暗号化して保存している旨等。)

→認証規約をカスタマイズしてお客様管理とすることも可能です。

また、別のお客様でPOPCHATを導入する理由になった出来事として、

自社のWi-Fiに接続する形で部屋に隠しカメラを設置されていて盗撮事件が発生した、という事例もございます。

そのような時代の要請に対応する形で、

「望ましくない」とのお声が増えつつありました「フリー認証」について、現在は設定可能ですが非推奨との考え方になっています。

代わりに設定していただく認証方式として「ベーシック認証」というのを推奨しております。

認証画面にご利用規約を表示して、

同意の1クリックだけで接続OKとなる簡易な認証方式です。

その他の代替機能として自動認証登録にCIDR形式でのIPアドレス登録やIPアドレスフィルタリングで許可設定をするなど、常時接続させる端末を登録する方法もございますが、こちらの場合ダッシュボードの稼働状況には表示されず、制御としては帯域制御がかかりません。(セッション制御は全ての通信に対してかかるため、POPCHAT内部処理としてはかかりますが、Dashboard上は制御端末として表示されません。)

利用者認証画面カスタマイズ内容(旧POPCHAT)

本体管理コンソールの認証画面テンプレートHTMLファイルを編集することで自由にカスタマイズ可能。
本体認証と@Cloudではテンプレート、Htmlファイルが別々に管理されているため、使っている認証方式によって
Htmlファイルのアップロード先が異なります。
※埋め込みのJavascriptの変更をすると正常に動作しなくなることがございます。

■ 認証画面

使用言語の選択	日本語 ☒ 中国語 ☒ 韓国語 ☒ 英語 ☒	
テンプレートの確認	日本語のテンプレートを確認 ▼ パソコン) 認証画面(index_auth) エラー画面(index_err) 完了画面(index_global) 携帯・スマートフォン) 認証画面(index_auth) エラー画面(index_err) 完了画面(index_global)	
テンプレートの取得	ダウンロード	※認証画面テンプレートをダウンロードします。 注意事項) ・テンプレートは、tar.gz形式で圧縮されています。 ・テンプレートのディレクトリ構成は変更しないでください。
テンプレートの更新	ファイルを選択 選択されていません アップロード	※認証画面テンプレートを更新します。 注意事項) ・テンプレートのディレクトリ構成は変更しないでください。 ・登録の際、テンプレートは、tar.gz形式で圧縮してください。 ・圧縮後のテンプレートのファイルサイズが 1000KB 以上のものは登録できません。
テンプレートの初期化	初期化	※認証画面テンプレートを初期状態に戻します。

認証設定	メール設定	ゲートウェイ	認証画面	認証保持	接続状況	接続履歴	アクセスID	モード切替	初期化
使用言語の選択	日本語 ☒ 英語 ☒ 韓国語 ☒ 中国語(簡体字) ☒ 中国語(繁体字) ☒ フランス語 ☒ ロシア語 ☒ スペイン語 ☒ マレー語 ☒ タイ語 ☒ ポルトガル語 ☒ ドイツ語 ☒								
テンプレートの確認	日本語のテンプレートを確認 ▼ パソコン) 認証画面(index_auth) 成功画面(index_success) エラー画面(index_err) 携帯・スマートフォン) 認証画面(index_auth) 成功画面(index_success) エラー画面(index_err)								
テンプレートの取得	ダウンロード	※認証画面テンプレートをダウンロードします。 注意事項) ・テンプレートは、tar.gz形式で圧縮されています。 ・テンプレートのディレクトリ構成は変更しないでください。							
テンプレートの更新	ファイルを選択	※認証画面テンプレートを更新します。 注意事項) ・テンプレートのディレクトリ構成は変更しないでください。 ・登録の際、テンプレートは、tar.gz形式で圧縮してください。 ・圧縮後のテンプレートのファイルサイズが 3000KB 以上のものは登録できません。							
テンプレートの初期化	アップロード								
	初期化	※認証画面テンプレートを初期状態に戻します。							

利用者認証画面カスタマイズ内容①(POPCHAT-X)

デフォルトテンプレートから変更できる項目としては
メイン画像(ヘッダー画像)/メイン色/サブ色/背景画像/基本デザイン/認証完了文言/認証完了ボタン名称
となっております。

※次ページより具体的な画面の説明をいれております。

日本語

英語

韓国語

中国語 (簡体字)

中国語 (繁体字)

フランス語

ロシア語

スペイン語

マレー語

タイ語

ポルトガル語

ドイツ語

保存

メイン画像	● デフォルト ○ カスタム ファイルを選択 選択されていません
メイン色	● デフォルト ○ カスタム
サブ色	● デフォルト ○ カスタム
背景画像	● デフォルト ○ カスタム ● ファイルを選択 選択されていません

基本デザイン	● デフォルト ○ カスタム 本サービスは、インターネットを利用できるWi-Fi接続サービスです。 インターネット接続を利用される方は、利用規約の内容に同意の上、 接続開始ボタンをクリックして下さい。
認証完了文言	● デフォルト ○ カスタム 接続完了画面
認証完了ボタン	● デフォルト ○ カスタム Wi-Fiに接続する

利用者認証画面カスタマイズ内容②(メイン画像)



←デフォルトヘッダー
画像変更後ヘッダー→



ヘッダー画像 → 推奨画像サイズ100px(高さ)*800px(幅)
大きい画像を挿入することも可能ですが、幅800pxに
リサイズされます。

横幅800pxに最適化された画像サイズに変更されます。
※元の画像サイズ(201px(高さ)*401px(幅))





ここの文言を変更できます。
Htmlで記載してください。
Javascriptの記載はできません。

HTMLの記載でも、
リンクが必要なものは記載できません。

(例)
<a>タブ



ご注意ください

HTMLで
<style type="text/css"></style>をご使用の場合、html{}や*{}を使用すると画面全体に作用してしまいます。

別言語も使用されている場合、言語毎のHTML記述をご用意ください。





The default screen features a light green header with the title 'Free Wi-Fi Service'. Below it, a light green box contains the service introduction. The main content area has a light green background with a white box for the '利用規約' (Terms of Use) section. At the bottom, there are three buttons: '男性' (Male), '女性' (Female), and 'その他' (Other), all in a light green color.

デフォルト



The customized screen has a yellow background. The header is yellow with a red dashed border. The service introduction box is yellow. The '利用規約' section is white. The bottom buttons are yellow. A red dashed box highlights the header area, and a red dashed box highlights the text '赤点線内は白固定 (色変更不可)' (Fixed white within the red dashed line (color change not possible)).

変更した場合

赤点線内は白固定
(色変更不可)

メイン色
サブ色
背景色



デフォルト

□ 基本の利用規約を使用する

日本語 英語 韓国語 中国語（簡体字） 中国語（繁体字） フランス語 ロシア語 スペイン語 マレー語 タイ語 ポルトガル語
ドイツ語

利用規約

Wi-Fiサービス利用規約

直接テキストを修正可能です。

1. 目的

本規約は、今アクセスされているこの公衆無線LAN（以下「Wi-Fi」といいます）が設置された施設において、当該施設の運営事業者（以下「エリアオーナー」といいます）が施設来訪者へのサービス向上等を目的としてWi-Fiサービスを提供し、施設来訪者が当該Wi-Fiサービスを利用するにあたり、必要な事項を定めるものです。

2. 利用条件

- (1) この規約は、当該Wi-Fiの利用時にエリアオーナーとの一切の關係に適用されます。本規約に同意しない場合は本Wi-Fiサービスを利用出来ません。当該Wi-Fiにおいてインターネット接続する場合は、利用規約の同意ボタンを押す事で明示的な同意・申し込みとし、その後、何れかの認証方法によりWi-Fi認証を完了することで利用契約の成立とします。
- (2) 本Wi-Fiサービス利用者（以下「利用者」といいます）が未成年者の場合には法定代理人（親権者または未成年後見人）の事前の同意を得られているとして利用規約の同意ボタンを押す事で同意・申し込みの上Wi-Fi認証を完了することで利用契約の成立とします。
- (3) 利用者がサービスの利用を開始した場合、当該利用開始を以て、本規約に定める全ての条件に同意いただいたものとみなし契約開始とします。
- (4) 利用契約の有効期間は、エリアオーナーの判断により本Wi-Fiエリアに定められています。
- (5) 前項の規定にかかわらず大規模災害が発生した場合、エリアオーナーまたはエリアオーナーが契約し認証サービスを委託したPOPCHAT株式会社が必要と判断した場合には、当該エリアのWi-Fiでは事前に定められたWi-Fi認証の必要なく制限されたインターネット接続サービスを利用する事が出来ます。

3. 利用者登録

本Wi-Fiサービスの利用にあたっては予め利用者登録をする必要があり、POPCHAT社から提供された認証サービスを通じて利用者登録となります。認



認証規約

- ☐ デフォルト認証規約を利用する。(認証情報はPOPCHAT社に管理を委託する。)
- ☒ 自社で認証情報を管理する



認証情報送付先サーバアドレス(認証時に利用する個人情報などを送付します。)

- ☒ カスタム
- ☐ 表示しない

日本語 英語 韓国語 中国語（簡体字） 中国語（繁体字）

カスタマイズする場合は自社で認証情報を管理するを選択の上、
認証情報送付先サーバアドレス(お客様にてご準備のWebサーバ)
を設定いただき
認証規約をカスタマイズ/表示しないいずれかを選択ください。

デフォルト

認証サービス利用規約

1. 目的

POPCHAT@Cloud認証サービス利用規約（以下「認証規約」といいます）は、この公衆インターネット回線（以下「Wi-Fi」といいます）環境が設置された施設（商業施設、ホテル、公共施設、飲食店その他施設等）の運営事業者（以下「エリアオーナー」といいます）との契約に基づき、次に述べる内容を目的として、エリアオーナーと本Wi-Fiサービス利用者（以下「利用者」といいます）の間のWi-Fi利用契約手続きの一環としてPOPCHAT株式会社（POPCHAT社）がWi-Fi利用者の認証を行うにあたり、必要な事項を定めるものです。

目的について、Wi-Fiの不正利用防止と万が一の犯罪利用時における利用者トレーサビリティ確保への貢献を主目的とし、付帯して、顧客サービス・販売促進、地域住民へのサービス向上・地域活性化・観光客の利便性向上や利用動向把握のためや防災防犯（災害情報含む）、人流解析・利用統計、収益向上、マーケティング支援、販売促進支援、市場調査などを副次目的とします。

2. 利用条件

- (1)この認証規約は、当該Wi-Fiの利用時において認証サービスを行うPOPCHAT社との一切の關係に適用されます。本規約に同意しない場合は本サービスをご利用出来ません。
- (2)本Wi-Fiサービスにおいてインターネット接続するWi-Fi利用契約には、認証規約の同意を伴う明示的な申し込みと、所定の何れかの認証方法による認証成立が必要となります。利用者が未成年者の場合には法定代理人（親権者または未成年後見人）の事前の同意を得られているとして同意ボタンを押す事で同意・申し込みを行い、認証を完了することで利用契約の成立となります。
- (3)利用者が本Wi-Fiサービスの利用を開始した場合、当該利用開始を以て、認証規約に定める全ての条件に同意いただいたものとみなします。
- (4)一度成立した認証の有効期間は、エリアオーナーの判断により任意のWi-Fiエリア毎に定められています。
- (5)前項の規定にかかわらず大規模災害が発生した場合、エリアオーナーまたはPOPCHAT社が必要と判断した場合には、当該地域のWi-Fiエリアは、事前に定められた認証方法での認証の必要なく制限されたインターネット接続サービスを利用する事が出来るようになります場合があります。

3. 利用者登録

本Wi-Fiサービスの利用にあたっては予め利用者登録をする必要があり、POPCHAT社による認証によって利用者登録となります。認証による利用者登録の後、エリアオーナーおよびPOPCHAT社が定める一定期間内はPOPCHAT社の管理するWi-Fi共通ID単位に再度の明示的なWi-Fi認証処理を不要としてインターネット接続する事が出来ますが、その一定期間においても、総務省のガイドラインに従い定期的な規約同意が表示されることがあります。

4. 禁止事項

(1) 利用者は、本Wi-Fiサービスの利用、及び認証にあたって以下に該当する行為を行ってはならないものとします。

- ・ POPCHAT社が用意しエリアオーナーが設定した所定の方法・手順によらず本サービスの申込み、もしくは認証に係る情報の送信を行い、本サービスを利用する行為。
- ・ 自己が保有するSNSアカウントやメールアドレスを認証情報として用いて第三者に本Wi-Fiサービスを利用させる行為、又は第三者になりすまして本サービスを利用する行為。
- ・ 第三者、もしくはエリアオーナー若しくはPOPCHAT社の財産又はプライバシーを侵害する行為。又はこれらを侵害するおそれのある行為。
- ・ 上記のほか、第三者、エリアオーナー若しくはPOPCHAT社に不利益又は損害を与える行為、又は与えるおそれのある行為。
- ・ 第三者又はエリアオーナー若しくはPOPCHAT社を誹謗中傷する行為。
- ・ 第三者又はエリアオーナー若しくはPOPCHAT社に対しメール受信を妨害する行為。連鎖的なメール転送を依頼する行為及び当該依頼に応じて転送する行為。
- ・ 本Wi-Fiサービスによりアクセス可能なエリアオーナー若しくはPOPCHAT社または第三者の情報を改ざん、消去する行為。
- ・ その他、法令に違反する、又は違反するおそれのある行為、POPCHAT社及びエリアオーナーが不適切と判断する行為。

(2) 利用契約の解除

エリアオーナー及びPOPCHAT社は、利用者が当禁止事項のいずれかに該当すると判断したときは、利用者に対する事前の通知を行うことなく、直ちに利用契約を解除し、被った損害の賠償を当該利用者に対して請求することができるものとします。

デフォルト

認証サービス利用規約②

5. 個人情報

- (1) 認証時に取得される個人情報としては、エリアオーナーが設定する認証方法によりメールアドレスやSNSアカウントIDなどの個人を特定できる情報(ID)があり得ます。
- (2) Wi-Fi認証時に取得された個人情報を使用して広告やメールなど一切の配信を行いません。
- (3) Wi-Fi認証時に取得された個人情報を利用して抽出・加工および集計を行いません。

6. 各種データの扱い

- (1) エリアオーナー及びPOPCHAT社は一切の通信データを取得する事はありません。
- (2) 当認証サービスでは、利用者の機器端末のMACアドレス及び利用者が入力した場合のメールアドレスをハッシュ化（匿名化）されたシステム固有の識別子に変換のうえ適切に記録及び保管します。
- (3) その他の個人を特定できるデータはハッシュ化のうえWi-Fi共通IDとともに適切に管理されます。
- (4) Wi-Fi認証時およびアンケート回答などから得られるデモグラフィック（人口統計学的）属性データは、第1項に記載される目的のために個人を特定不能なデータ形式に抽出・加工および集計されます。また、POPCHAT社は、当該加工データを上記目的のもとで、第三者に提供することがあります。但し、POPCHAT社にとって「個人が特定できない」情報であっても、第三者等が独自に保有している個人データ等と照合することで、顧客等においては個人情報の再特定ができてしまう可能性はあります。あらかじめご了承ください。
- (5) Wi-Fi認証時、多言語対応のため接続端末が持つOS・ブラウザ情報などを取得します。当該データに含まれる言語・国籍などを利用統計情報として活用します。
- (6) Wi-Fi認証時、利用統計のためのデータ取得や顧客向けサービス開発、スポンサー企業から受託したアンケート調査のためアンケート回答を求めることがあります。
- (7) Wi-Fi認証後、自動表示されるHTMLページにてファーストパーティおよびサードパーティのCookie・Google Analyticsなど機械的閲覧履歴データを取得することがあります。
- (8) POPCHAT社が取得する利用統計情報を、24ヶ月以内の保管期間を目的として、第三者である提携調査会社および提携調査依頼事業者に提供します。
- (9) Wi-Fi認証に係るデータは、捜査機関からデータ開示の要請を受けた場合には、開示が適切と判断される状況に限り必要なデータを開示します。

7. 免責

- (1) POPCHAT社は、利用者が本Wi-Fiサービスを利用することにより第三者との間で生じた紛争等に関して、一切責任を負いません。
- (2) POPCHAT社は、利用者が本Wi-Fiサービスを利用して取得する第三者が提供する情報について、一切責任を負いません。
- (3) POPCHAT社は、エリアオーナーの定めるWi-Fi利用規約、及びPOPCHAT社の定める認証規約による本Wi-Fi及び認証サービスの全部若しくは一部の提供の中断及び提供の廃止等、並びに当該規約類の変更、利用契約の解除及び通信利用の制限等によって利用者が損害を被った場合でも、一切責任を負いません。
- (4) POPCHAT社は、利用者が使用するいかなる機器、及びソフトウェアについて一切動作保証は行わないものとします。

デフォルト

認証サービス利用規約③

8. サービス提供の中止又は中断等

(1) サービス廃止

エリアオーナーは自己の都合によりいつでも本Wi-Fiサービスの全部または一部を猶予期間を必要とせずに廃止することができるものとし、その際には同時に本認証規約による契約も自動的に終了するものとします。

(2) 提供中断

POPCHAT社は、次のいずれかに該当する場合、本Wi-Fサービス利用者に対する認証サービスの全部又は一部の提供を中断することがあります。

- ・天災地変等の不可抗力
- ・本認証サービスに関する機器、設備等の保守、工事等
- ・本認証サービスにおいて使用する機器、設備等に故障、障害等の発生
- ・災害の予防若しくは救援、交通、通信若しくは電力の供給の確保又は秩序の維持に必要な通信その他公共のために必要があるとき。
- ・POPCHAT社の運用上又は技術上、本サービスの全部又は一部の提供を中断する必要があるとき。

(3) POPCHAT社は、本認証サービスの全部若しくは一部の提供の中断又は前項に定める利用の制限等を計画している場合は、その旨を関連Webサイト上に掲載する等の方法によりエリアオーナー及び利用者に通知するものとします。ただし、緊急やむを得ない場合は当該通知を行わないことがあります。

9. 規約の変更

(1) 本認証規約に定められた条件は、利用者に予告することなく変更する場合があります。当該変更後にサービスを利用される場合、利用者は変更後の規約に定められた条件に改めて同意をいただく必要があります。

(2) 利用契約が終了した後も、本契約の定めは、なお有効に存続するものとします。

10. 準拠法

本認証規約は、日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。

11. 合意管轄

利用者とPOPCHAT社との間で利用契約に関連して訴訟の必要が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

付則

本規約は2020年5月1日より実施するものとします。

同時接続数の考え方について

POPCHATの認証設定

接続回数/期間： 1回/1日

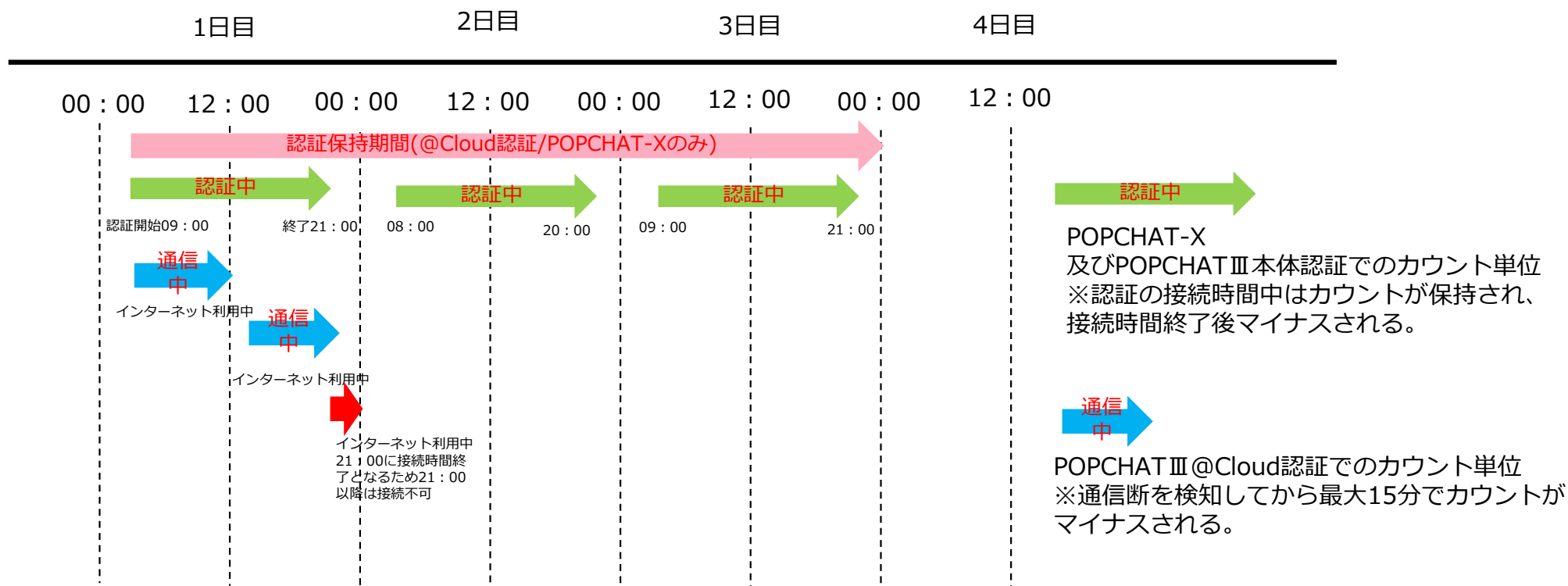
接続時間： 12時間

認証保持期間： 3日

同時接続数の概念としては下記図表中の

POPCHATⅢ@Cloud認証では通信中端末数(Macaddress)のカウント、通信中でない場合はカウントしない。

POPCHAT-XシリーズおよびPOPCHATⅢ本体認証では認証中の端末数(Macaddress)のカウント、認証終了後カウントマイナスとなります。



POPCHAT-Xでは設定項目の最小粒度である、接続時間内の端末を同時接続数としてカウントする形に仕様変更となりました。
(従来の本体認証での同時接続数と同様のカウント数に統一となります。)



POPCHAT株式会社

東京本社：東京都豊島区東池袋3丁目20-3